

(信州) “いい川” づくり研修会

(※「日本の源流シンポジウム」として開催)

- ・テーマ：河川環境の保全と地域防災緑向上の両立～
- ・日時：平成 25 年 8 月 31 日（土）9：30 開会・9 月 1 日（日）16：00 閉会
- ・場所：飯島文化館 大ホール（8/31）・小ホール（9/1）（長野県上伊那郡飯島町飯島 2489）
- ・対象：行政、設計・施工事業者の川づくり担当者、研究者、川づくりに関心の高い市民・住民、土木や環境を専攻する学生等
- ・テキスト：「多自然川づくりポイントブックⅢ」及び研修会資料
- ・主催：特定非営利活動法人 天竜川ゆめ会議／NPO 法人 全国水環境交流会
- ・共催：長野県／飯島町／飯島町教育委員会／諏訪湖浄化推進連絡協議会／
（社）長野県建設業協会／（社）長野県測量設計業協会／（一社）長野県南部防災対策協議会／（一社）南信防災情報協議会／（社）建設コンサルタント協会関東支部長野地域委員会
- ・測量系 CPD、建設コンサルタント系 CPD、施工管理技士会 CPDS 付与プログラム

【プログラム概要】 敬称略

■8 月 31 日（土） 飯島文化館 大ホール

9:00 開 場

9:30 ～ 開会・趣旨説明 NPO 法人天竜川ゆめ会議 代表理事 福澤 浩

10:00 ～ 《エクスカージョン》

- ・太田切川流路工整備のその後 天竜川上流河川事務所説明
- ・上穂沢川多自然型川づくり 長野県建設部河川課説明
- ・与田切流路工整備・21 世紀の森と水 天竜川上流・飯島町説明

13:00 ～ 《基調講演 1》「治水・防災における源流の役割」 高橋 裕（東京大学名誉教授）
～砂防、森林整備、土地利用の歴史から考察する源流の役割～

14:00 ～ 《基調講演 2》「重厚長大から“環境”へ、土木思想の変化」
河村忠男（元土木学会企画広報室長）

～戦後の高度経済成長と、“美しいものづくり” への変遷～

15:00 ～ 《河川環境と防災》コーディネーター：平松 晋也（信州大学農学部教授）

○取組み報告

- ①「天竜川水系の河川環境保全と防災」 中部地方整備局
- ②「木曾川水系の河川環境保全と防災」 中部地方整備局（岐阜県県土整備課）
- ③「千曲川水系の河川環境保全と防災」 北陸地方整備局
- ④「長野県の河川環境保全と防災」 長野県建設部

16:00 ～ 《河川環境と防災》コーディネーター：平松 晋也（信州大学農学部教授）

○検証と討論

16:50 ～総評 天竜川上流河川事務所所長

16:55 ～謝辞・閉会の辞 吉川 篤（NPO 法人天竜川ゆめ会議 副代表理事）

■9月1日(日) 飯島文化館 小ホール

9:00 開場

10:00 ～ 開会・趣旨説明 山道 省三 (NPO 法人全国水環境交流会 代表理事)

10:10 ～ 講座1 「天竜川の汚れは誰のせい？」 沖野 外輝夫 (信州大学名誉教授)

11:00 ～ 講座2 「いい川づくりに向けた市民活動の変遷」 山道省三 (全国水環境交流会)

11:50 ～ 昼食

12:45 ～ 講座3 「河川砂防基準の改定と今後の河川技術の展開」

藤田光一 (国土技術政策総合研究所)

13:30 ～ 事例報告と討論 コーディネーター：吉村 伸一

1) 事例報告

①「多自然川づくりの全国事例の検証」 吉村 伸一 (多自然川づくり研究会)

②「長野県の川づくりの取組み事例1」 矢澤 聖一 (天竜川上流河川事務所)

③「長野県の川づくりの取組み事例2」 田代 幸雄 (下伊那郡南部建設事務所)

④「飯島いいものつくろう会の活動」 飯島いいものつくろう会

2) 事例の検証と討論

15:45 ～ 総評 吉村 伸一 (多自然川づくり研究会)

15:50 ～ 謝辞・閉会の辞 福澤 浩 (NPO 法人天竜川ゆめ会議 代表理事)

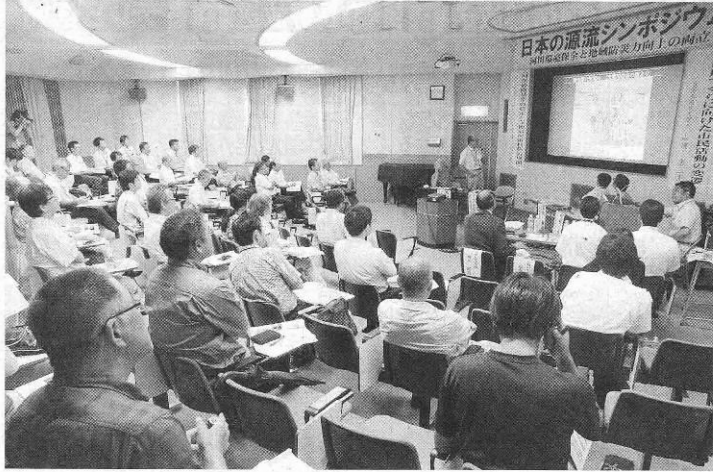
16:00 ～ 解散

*参加者：253名 (2日間のべ人数)

《開催状況》



9/1 研修会の様子



川づくりの事例を見ながら
意見交換したシンポジウム

天竜川の保全活動に取り組むNPO法人天竜川ゆめ会議とNPO法人全国水環境交流会の主催。この日は、国県の河川整備担当者、自治体関係者、現場の工事担当者、住民ら約80人が参加した。

事例報告では、国土交通省天竜川上流河川事務所の矢澤聖二工務課長が、地域住民と協働で自然再生に取り組んだり、災害後の河床工事で魚の

飯島町文化館で2日間に行われた、河川の環境保全と治水、防災の両立について考える「日本の源流シンポジウム」が1日、閉会した。2日目は講座や事例報告で、各地の川づくりの取り組みを学び、意見交換した。

(前田智威)

工夫の川づくり学ぶ

源流シンポ 講座や事例報告

飯島

生息環境に配慮した工夫のさまざまなを紹介した。

同事務所と工事の受注業者が技術の勉強会を開いている「飯島いいものつくり会」の松村良次さんも報告。床固工事の際の石の配置について

研究し、イワナやアマゴを放流して効果を調べている様子を語った。

事例報告でコーディネーターを務めた多自然川づくり技術普及研究会の吉村伸一さん「横浜市」は「川との新しい関わり方を考える時期が来ている。現場でいろいろ工夫して、いい川をつくっていくための刺激的な話し合いができた」と講評した。

講座では、水質調査についての考え方や、全国の川づくりの活動事例、国の河川技術政策の方向などについて学んだ。